

# よつくら通信

文責；いわき市立四倉小学校長 小川幸一

## 亥年のスタート、そして最後の平成

平成31年(4月30日まで)そして、亥年がスタートしました。つい先ごろまでお正月気分でしたが、気がつけば2月。月日の経つのは早いものです。

3学期始業式では、亥年という年は、次の大事なことに備えて準備をする年という意味があるので、3学期をそれぞれの学年のまとめとしてしっかり生活するようお話ししました。各学級では、一生懸命学習する姿が見られます。

しかし21日(月)になると突然インフルエンザでお休みする児童が多く出ました。きっと外出先などで感染したかと思われま。また、家族間での感染にもご注意願います。自分の体を守ることは大切ですが、他人へ感染させないことも重要です。まわりの人達への心配りを忘れずに、自分の健康管理に努めさせたいと思っています。

ところで、次の問題は、先日行なわれた福島県立中学校入試問題の一部です。細かくて申し訳ございません。よく目を凝らしてお読みいただくと、子ども達が学校から持ち帰るテストとは全く質が違うことにお気づきになられると思います。今、日本で求めている学力がこのような力です。つまり、すばやく的確に問題を読み取り、これまで身につけたいろいろな知識を活用して解決する力です。同時に、自分の考えを筋道立てて端的に言葉や文章、図などで表現する力です。このような力を育てるためにも、子ども達には基本的な読み、書き、計算の力を付けることばかりでなく、普段から本や新聞を読んだり、ニュースを見たりしてもらいたいと願っています。

あきさんの学級に、タイの日本人学校から転校生が来ることになり、かんげい会を開くことになりました。次は、先生からの【転校生の情報】と【当日のプログラム】です。

次の(1)～(4)の間に答えなさい。

**【転校生の情報】**

わたしたちの学級に転校生が来ます。名前は、じゅんこさんと言います。お父さんの仕事の都合で、3年間、タイの首都であるバンコクに住んでいました。福島県に住むのは、初めてだそうです。

先生

**【当日のプログラム】**

- かんげいの言葉 けんじ あきこ
- 福島県のしょうかい あきこ
- 全員合唱  
福島県「県民の歌」 指揮 るみ
- タイとの交流の歴史 さきお
- じゅんこさんの話


(2) るみさんは、全員合唱の指揮をすることになりました。<資料5>は、福島県「県民の歌」の最初の4小節です。

①、②の間に答えなさい。

① この歌は、何分の何拍子ですか、かきなさい。

② るみさんは、<資料5>にあるmfを意識して歌うようにみんなに話しています。どのように歌えばよいですか、かきなさい。

<資料5>福島県「県民の歌」の最初の4小節



しやくーなげにおうやーまーなみーに

(福島県ホームページ「県民の歌」により作成)

(1) あきさんとみのさんは、福島県のしょうかいをすることになりました。①～④の間に答えなさい。

<資料1>あきさんとみのさんの発表メモの一部

位置…福島県は東北地方の中で最も **ア** に位置している。ととり合っている県は6県あり、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、**イ**、宮城県である。福島県の東側には、3つの海洋の1つの **ウ** が広がっている。

地形…阿武隈高地と奥羽山脈が南北に連なっている。

気候…浜通り、中通り、会津の各地方によって、それぞれ特色がある。

人口…東北地方の中で、宮城県について2番目に多い。

面積…もも、さきゅうり、なしなどの収穫量が多い。

<資料2>東北各県の人口と面積に関する発表資料



東北各県の人口と面積が一目でわかるようにしたいね。

上の段に各県の人口、下の段に各県の面積を書きこんでみたよ。この資料から福島県についてどんなことが言えるかな。

あきこ

みの

(総務省統計局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成30年1月1日現在)」および国土地理院「平成29年全国都道府県市区町村別面積調」により作成)

(3) さおりさんは、日本とタイの交流の歴史についてしようかいうことになりました。次は、さおりさんの話の一部です。

①、②の間に答えなさい。

タイは、古くから日本とつながりのある国です。江戸時代の初めまで、日本はタイをはじめとする東南アジアの国々との貿易がさかんだったため、各地に **A** とよばれる町がつけられました。その後は、日本が領国をしたため関係がうすれましたが、明治時代に入り、再び交流が始まりました。

① **A** にははまる言葉は何ですか、かきなさい。

② さおりさんは、上の話に続けて、領国によって貿易や交流が制限されているにもかかわらず、新しい知識や技術が広がっていったと説明しました。それはなぜですか。その理由を、**輸入**と**輸出**という言葉を使って、「江戸時代の中ごろになると。」の後に続けて、かきなさい。

(4) じゅんこさんは、タイの様子について話しています。次は、じゅんこさんの話の一部です。

わたしの通っていたバンコクにある日本人学校は、日本人学校として世界で最も古く、現在は2000人以上の子どもたちが通っています。人数の多さにおどろくと思いますが、タイには日本の会社がたくさんあるからなのです。わたしの父さんもタイにある日本の自動車会社で働いていました。⑦タイには日本の自動車会社がたくさんあり、組み立て工場もありました。

じゅんこ

この話を聞いたあきさんは、タイでの自動車生産に興味をもち、5年生で学習したことをふり返ったり、新しく調べたりしました。

①、②の間に答えなさい。

① あきさんは、<資料6>を自主学習でまもりました。そして、この学習を通して、じゅんこさんの話の⑦に改めて納得することができました。あきさんが納得したのはなぜですか。その理由を、**材料**という言葉を使ってかきなさい。

② あきさんは、さらに調べていくと、自動車会社の多くは、持続可能な社会をめざした取り組みの1つとして、電気自動車の開発・生産に力を入れていることがわかりました。自動車会社が、電気自動車の開発・生産に力を入れているのはなぜですか。その理由を、**環境**と**資源**の両面からそれぞれかきなさい。

<資料6>あきさんがまもったノート

日本の鉄鋼の主な輸出先と輸出額 (単位: 億円)



(『日本国勢協会2018/19版』により作成)

## ～ 2月の行事予定 ～

- 1日(金) 豆まき集会 四倉中入学説明会
- 2日(土) 土曜学習(本校体育館)
- 5日(火) 集金日(低)
- 7日(木) 集金日(中)
- 8日(金) 集金日(高)

- 12日(月) 新入生保護者説明会
- 18日(月) 3年クラブ活動見学
- 19日(火) 校内学力テスト 学校評議員会
- 22日(金) 授業参観、学級懇談、PTA 学年会
- 28日(木) 教材費集金日

<心の相談員来校日>

5・8・13・15・18・20・25・27日

<学校司書来校日>

1・7・8・14・15・21・22・28日

12月に行なった学校評価の結果です。ご協力ありがとうございました。本結果をふまえ、さらに指導の改善を図りながら学校教育の充実に努めてまいります。

## 平成30年度 学校評価における保護者、児童集計結果と今後の対応

A:達成(3.5以上) B:おおむね達成(2.5~3.4) C:やや達成不十分(1.5~2.4) D:達成不十分(1~1.4)

評定: Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点とした平均値

No.	評価内容	保護者(単位%)					児童(単位%)						
		A	B	C	D	平均	評定	A	B	C	D	平均	評定
1	学力	33	60	7	1	3.25	B	57	36	7	0	3.5	A
2	向上	24	44	27	5	2.88	B	46	36	13	5	3.24	B
3		16	32	39	13	2.52	B	48	25	15	12	3.09	B
4	心の	61	34	5	1	3.54	A	73	22	5	1	3.67	A
5	教育	45	49	7	0	3.38	B	60	28	9	3	3.46	B
6		31	62	6	1	3.22	B	66	28	5	1	3.6	A
7		31	58	11	1	3.18	B						
8	体力	37	43	15	5	3.12	B	56	26	13	5	3.33	B
9	向上	45	51	3	0	3.4	B	67	22	10	1	3.56	A
10		29	62	5	4	3.17	B	62	31	6	1	3.53	A
11		29	52	16	3	3.08	B						
12	安心安全	55	38	7	1	3.46	B	73	20	5	3	3.62	A
13	な学校	52	45	2	0	3.5	A						
14	家庭地域	31	56	11	2	3.15	B						
15	との連携	37	43	16	4	3.14	B	81	9	6	3	3.69	A

### 【総括】

・ A達成とBおおむね達成を合わせて、保護者では8項目、児童は6項目が9割を超えています。このうち両者共に9割を超えているのは6項目あり、中でも学力の向上、体力向上、3つの約束、友達と仲良くする、きまりを守る、楽しく学校に通っているの6つの項目では高い評価となっています。知・徳・体のバランスの取れた教育活動の推進という観点から、好ましい教育活動が展開されたと考えています。

### 【学力向上】

・ 分かりやすい授業の展開による学力の向上は、AとBの割合は昨年と同程度の評価であり、児童が意欲的に授業に取り組んでいることが分かります。特に、主体的な家庭学習への取組みについての児童の評価は昨年よりも向上しました。学校図書館を活用した読書の推進については、さらに指導と啓発を必要とします。学力向上のためには、学習態度や学習の仕方の定着が欠かせません。学校では学習のきまりを設けて指導しているところですが、ご家庭におかれましてもご理解とご協力をお願いいたします。

### 【心の教育】

・ 4項目すべてがほぼ9割を超えています。特に学校の3つの約束については児童がしっかりと認識しているので、きちんと行動かできるよう指導を重ねたいと思います。また、学習指導要領の改訂に伴い今年から「特別の教科 道徳」が行なわれました。道徳の価値観についての要容を評価したり、家庭との連携を図った指導により道徳心を向上させていくものです。道徳の学習で培われた見方や考え方が生活の中で生かされていくよう今後も指導していきます。

### 【体力向上】

・ 体力向上についてはどの項目も昨年と同じ程度の評価でした。本校では運動の習慣化をめざし全校児童が毎朝の運動に取り組んでいます。登校するとすぐに着替えて運動に取り組む児童が増えていることをうれしく思っています。しかし、基本的な生活習慣の確立のための「早寝、早起き、朝ごはん」については、今後も家庭と連携し身につけさせ、自立心を向上させたいと思います。

### 【安心安全な学校】

・ 学校に楽しく通っているという評価が、児童も保護者も9割を超えています。学校に来ることが楽しいということが大前提であるので好ましい結果ではありますが、このように感じてはいない児童にさらに寄り添い、保護者の皆様と連絡を取り合っ子ども達を支えていきたいと思います。安全管理につきましては、古い校舎であるために普段から点検や修繕を教育委員会と連絡を取り合っ重ねているところです。お気づきの点があればその都度ご連絡いただくと幸いです。

### 【家庭地域との連携】

・ 夢を持っていると答えた児童が9割を超えています。児童が「A」評価した割合が4ポイント向上したのは、ご家庭での励ましや豊かな会話のおかげと感謝いたします。今後も「いわきっ子 チャレンジノート」などを活用し、目的実現に向けた支援を行っていききたいと思います。

### 【ご意見・ご要望】

・ 宿題の有無や量についてのご意見が数軒ありました。宿題は学習習慣化と学力の定着のために取り組ませています。ご家庭で代わるものがありましたらそれで結構です。担任までご相談ください。

・ 立席当番の時児童の元気なあいさつが聞かれないというご指摘も数点ありました。学校でも重点的に取り組んでいるところです。ぜひ、ご家庭におきましてもお子さんが玄関を出るときに、人にあつたら元気なあいさつするようお声かけをお願いいたします。

・ おひと方のみのご意見がいくつかありました。お子さん方へのよい教育を施すために参考にさせていただきます。